

認知・生物系 履修モデル

心理学導入科目や共通科目を通して、人間理解の基盤を作る

認知・生物系を中心に心理学の基礎知識を習得し、科学的な人間理解の基礎を身につける

認知科学的視点から、人の心や行動を理解するための専門的知識と技量を発展させる

客観的な人間理解力を生かした公務員等や、人の心や行動に関して高度な科学的追究を行う研究職をめざす

◎心理学必修科目
○心理学選択科目

	1年次履修科目	2年次履修科目	3年次履修科目	4年次履修科目
卒業論文				卒業論文
心理学応用融合科目	認知・生物領域の基礎を固め、広い視野にたって科学的に人間の心や行動を理解する力を養う	○認知神経科学 ○学習と言語の心理学 ○臨床医学概論 ○応用社会心理学	○産業心理学 ○医療心理学 ○感情・人格心理学 ○認知心理学演習 ○認知発達心理学演習	○コミュニティ心理学 ○健康心理学
心理学応用実習・演習科目		心理学の実験、分析、実践法の基礎を身につける		認知・生物領域を中心に、関連する領域も学習し、高度な人間理解力と応用性を養う
心理学応用共通科目			○心理臨床に関する法と制度 ◎心理学専門英語	心理学の国際的な知見を学び、心理学の社会的貢献について考える
心理学基礎演習科目	◎心理学基礎演習	◎心理統計法 ◎心理学基礎実験演習 ◎心理学基礎実践演習	○心理学実践演習：質問紙法	
心理学基礎講義科目	◎認知心理学概論 ◎発達心理学概論	◎教育心理学概論 ◎社会心理学概論 ◎臨床心理学概論 ○心理職の職業倫理		
心理学導入科目	◎こころの科学 ◎こころの科学：研究と実践	人間の知覚や感性、言語活動について、心理学以外の学問の視点から広く学ぶ		
文理融合L A科目	色・音・香 ことばと世界			
全学共通科目等	基礎講義 (お茶の水女子大学論 など) 情報、外国語、スポーツ健康 生活科学概論	外国語	Advanced Communication Training キャリアプラン	国際的視点に立ち、将来のキャリア設計を行う

認知・生物系履修モデルの特色

- 将来的に公務員や研究職に就くことを想定した履修モデル
- 焦点：認知生物分野を中心に科学的視点や分析手法を身につけ、人間の認知や行動メカニズムに関する専門的知識を習得する
- コンピテンス：客観的な人間理解力とそれに基づく応用性を育てる
- 活躍できるフィールド：大学院進学、企業・大学研究職、公務員